

# 2015年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」

## 1 年次調査の概要

- 調査対象者 学部 2015 年度生全員。
- 調査方法 2015 年度秋学期成績通知書交付時に調査票を配布し、その場で学生に回答してもらい回収した。なお、本調査の回答と3年次終了時点での回答（2017年度実施予定）を照合させるため、学生IDの記入を求めている。
- 回収状況 回収数は5022票であり、在籍者数に対する回収率は79.2%であった。

学部別回収状況（1年次調査）

	在籍者数	回収数	回収率
神学部	62	53	85.5%
文学部	676	579	85.7%
社会学部	468	438	93.6%
法学部	858	673	78.4%
経済学部	859	731	85.1%
商学部	883	773	87.5%
政策学部	389	187	48.1%
文化情報学部	309	242	78.3%
理工学部	915	709	77.5%
生命医科学部	216	144	66.7%
スポーツ健康科学部	223	118	52.9%
心理学部	157	117	74.5%
グローバル・コミュニケーション学部	142	97	68.3%
グローバル地域文化学部	186	161	86.6%
合計	6343	5022	79.2%

# 2015年度 キャンパスライフに関するアンケート調査(2015年度生用)

## アンケートご協力をお願い

同志社大学学習支援・教育開発センターでは、より良い1年次教育プログラムの開発を目的として、みなさんが1年間学ばれた時点で本学の教育に対してどのように感じておられるかを把握するため、調査を実施しています。回答いただいた内容は、すべて数値に置き換えられ統計的に処理されますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありません。また、調査結果が本学の教育改善以外の目的に使用されることもありません。本学の教育に対するみなさんの意見を知るための貴重な資料となりますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

- 回答の仕方は、質問文の指示にしたがってください。
- ほとんどの質問は、あてはまる番号に○をつけてお答えください。
- いくつかの質問には、数値や文字を記入してください。
- 回答したくない質問には、無理に答えていただくなくて結構です。
- 質問は全部で29問あります。10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

キャンパスライフに関するアンケート調査は、みなさんが1年次を終えた時点と3年次を終えた時点を比較し、どのような変化が生じたかを探る計画をしています。そのため、Q4で学生 ID の記入を**任意**でお願いすることになっています。もちろん、個人を特定した分析結果を示そうとする意図ではありませんので、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、キャンパスライフに関するアンケート調査の集計結果は、「CLF REPORT」(毎年3・10月発行)や学習支援・教育開発センターHP (<http://clf.doshisha.ac.jp/investigation/investigation.html>)にて、一部、公開しています。

同志社大学学習支援・教育開発センター  
E-mail: ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp  
TEL:075-251-3277

Q1. あなたが所属している学部・学科をお答えください。

(                                      )学部(                                      )学科・コース

Q2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男性                                      2. 女性

Q3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自宅通学                                      2. 自宅外通学

Q4. 学生 ID をお答えください。

ID 

--	--	--	--	--	--	--	--

Q5. あなたの 2015 年度終了時点での累積 GPA はいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- |                   |                   |                   |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 1.00 ポイント未満    | 2. 1.00～1.49 ポイント | 3. 1.50～1.99 ポイント |
| 4. 2.00～2.49 ポイント | 5. 2.50～2.99 ポイント | 6. 3.00 ポイント以上    |

Q6. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。次の中から最も近いものを選んでください。

1. 上位の方    2. 中の上ぐらい    3. 中ぐらい    4. 中の下ぐらい    5. 下位の方    9. わからない

Q7. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1. 一般入試                 | 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校)                               |
| 2. 指定校推薦入試              | 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校)                               |
| 3. 推薦選抜入試(公募制)          | 10. キリスト教主義学校連携ネットワーク推薦入試<br>(法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校)を含む) |
| 4. AO入試                 | 11. スポーツ推薦選抜入試  |
| 5. 大学入試センター試験を利用する入試    | 12. 社会人特別選抜入試   |
| 6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校)   | 13. 外国人留学生入試  |
| 7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) |   |

Q8. あなたの第一志望校はどこでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現在、在籍している学部(学科)    2. 本学の他学部(他学科)    3. 私立他大学    4. 国公立大学  
5. 短期大学    6. 専門学校    7. その他(具体的に )

Q9. 入学前の状況として、最もあてはまる番号に○をつけてください。

1. 国内の高校に在学    2. 浪人していた(予備校に在学も含む)    3. 国内の他大学・短大に在学  
4. 国内の専門学校に在学    5. 会社で働いていた    6. 海外留学していた    7. その他( )

Q10. あなたが大学に進学した理由として以下の項目はどれくらい重要ですか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	まったく重要ではない	あまり重要ではない	いくらか重要である	非常に重要である
1) 就職に有利だから	1	2	3	4
2) 周りの人たちが進学するから	1	2	3	4
3) 親の希望だから	1	2	3	4
4) すぐに働きたくなかったから	1	2	3	4
5) 大学で学ぶ内容に興味があったから	1	2	3	4
6) 幅広い教養を身につけたかったから	1	2	3	4
7) 専門的知識を身につけたかったから	1	2	3	4
8) 学生生活を楽しんでみたかったから	1	2	3	4
9) 資格を取るために必要だったから	1	2	3	4
10) 大卒の学歴を得たいから	1	2	3	4

Q11. あなたは志望校として本学を選択するにあたって、どのような点を重視しましたか。あてはまる番号 すべてに○をつけてください。

- |                  |                  |                   |
|------------------|------------------|-------------------|
| 1. 建学の精神や理念に惹かれた | 7. 研究面に優れた教員がいる  | 13. 高校から推薦入学制度がある |
| 2. イメージが良い       | 8. 就職に有利である      | 14. 自宅から通学できる     |
| 3. 自分の好きな分野を学べる  | 9. 親や知人の出身校である   | 15. 京都の文化に触れたい    |
| 4. 先端の学問を学べる     | 10. 親や知人に勧められた   | 16. その他           |
| 5. 将来性の高い分野を学べる  | 11. 資格が取れる       | (具体的に )           |
| 6. 教育面に優れた教員がいる  | 12. 自分の偏差値にふさわしい | 17. とくに考えていなかった   |

Q12. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、1年間本学で学んで、その力がさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				1年間学んで					
	い な か っ た	身 に つ い て	い な か っ た	あ ま り 身 に つ い て	て い た	や や 身 に つ い た	身 に つ い て い た	身 に つ か な か っ た	あ ま り 身 に つ か な か っ た	や や 身 に つ い た
1) 授業の重要なポイントをノートにまとめる力	1	2	3	4	1	2	3	4		
2) 図書館の利用方法や文献を調べる力	1	2	3	4	1	2	3	4		
3) パソコン等を使って文書や資料を作成する力	1	2	3	4	1	2	3	4		
4) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4	1	2	3	4		
5) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4	1	2	3	4		
6) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4	1	2	3	4		
7) 課題を解決する力	1	2	3	4	1	2	3	4		
8) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4	1	2	3	4		
9) プレゼンテーションの力	1	2	3	4	1	2	3	4		
10) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4	1	2	3	4		
11) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4	1	2	3	4		
12) ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4	1	2	3	4		
13) 英語の能力	1	2	3	4	1	2	3	4		
14) 英語以外の外国語(初修外国語)の能力	1	2	3	4	1	2	3	4		
15) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4		
16) 地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4		
17) グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4		
18) リーダーシップの能力	1	2	3	4	1	2	3	4		
19) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4	1	2	3	4		
20) 批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4		
21) 効果的に学習する技能	1	2	3	4	1	2	3	4		

Q13. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                     |                              |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目)            | 6. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭) |
| 2. 先端領域科目                           | 7. 体育実技(スポーツパフォーマンス)         |
| 3. 複合領域科目                           | 8. AKP 同志社留学生センター開設科目        |
| 4. プロジェクト科目                         | 9. キャリア形成支援科目                |
| 5. 初年次教育科目(少人数制で主に大学での学習方法について学ぶ科目) | 10. 国際教養科目                   |

Q14. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4

Q15. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールド・ワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

Q16. あなたは、大学入学後に次のような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

Q17. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方にふれること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 協調性を持つこと	1	2	3	4
9) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
10) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
11) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
12) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
13) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

Q18. あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	満足	やや満足	いえない	どちらとも	やや不満	不満	(履修・利用していない)
1) 英語・外国語の授業	1	2	3	4	5	9	
2) 全学共通教養教育科目の授業	1	2	3	4	5	9	
3) 所属学部・学科の専門の授業	1	2	3	4	5	9	
4) 教室の設備環境	1	2	3	4	5	9	
5) 図書館の環境や設備	1	2	3	4	5	9	
6) ラーニング・コモンズの環境や設備	1	2	3	4	5	9	
7) 各学部が設置している学習スペースの環境や設備	1	2	3	4	5	9	
8) パソコンの利用環境	1	2	3	4	5	9	
9) 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭)の授業	1	2	3	4	5	9	

Q19. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう 思わない	あまり そう 思わ ない	やや そう 思 う	そう 思 う
1) 大学で学ぶことは楽しい	1	2	3	4
2) 大学で学ぶこと自体に価値がある	1	2	3	4
3) 大学でよい成績をとることは重要だ	1	2	3	4
4) 大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ	1	2	3	4
5) 大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
6) 大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

Q20. あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	やや あてはまる	あまりあては まらない	あてはまらな い
1) 同じ学部・学科の友人がいる	1	2	3	4
2) 他の大学に通う友人がいる	1	2	3	4
3) 大学の教員と交流がある	1	2	3	4
4) 大学の一員だと感じる	1	2	3	4
5) 大学は気おくれして居心地が悪い	1	2	3	4
6) 大学はいつも退屈だ	1	2	3	4

Q21. あなたは、次のような項目について、大学にもっと教えてほしいと思いますか、そうは思いませんか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	教 え て ほ し く な い	ど ち ら か と い え ば 教 え て ほ し く な い	ど ち ら か と い え ば 教 え て ほ し い	教 え て ほ し い
1) 大学の建学の精神や理念	1	2	3	4
2) 大学の歴史・伝統	1	2	3	4
3) カリキュラム編成や卒業単位の習得方法	1	2	3	4
4) 履修登録の具体的な方法	1	2	3	4
5) 大学内の施設・設備の利用方法	1	2	3	4
6) 大学で利用できる制度やサービス(留学、就職相談など)	1	2	3	4

Q22. あなたは、本学に対してどのくらい愛着がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1	2	3	4	5
非常に 愛着がある	かなり 愛着がある	ある程度 愛着がある	あまり 愛着がない	まったく 愛着がない

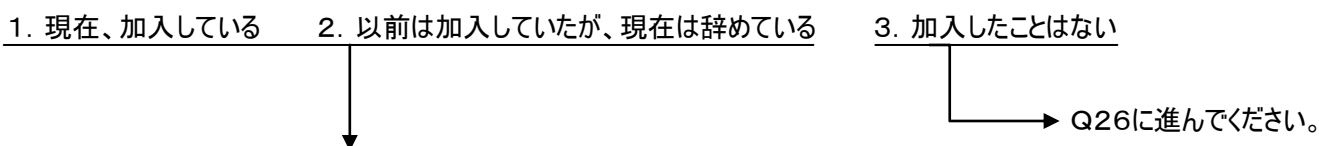
Q23. あなたは、**今学期(秋学期)**、授業を何科目(コマ)登録しましたか。また、登録した授業のうち、7割(11回)以上出席した授業は何科目(コマ)ありましたか。休学等の理由で授業の登録を行わなかった場合は0(ゼロ)と記入してください。(注意:単位数ではありません)

1) 登録した授業	<input type="text"/>	科目(コマ)
2) 7割(11回)以上出席した授業	<input type="text"/>	科目(コマ)

Q24. あなたは授業期間中、**通常 1 週間に**約何時間、次の活動を行いましたか。まったくしなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

1) 授業中以外の学習(授業の予習・復習、課題作成、 実験、リハーサル等)	<input type="text"/>	時間 くらい
2) 仕事またはアルバイト	<input type="text"/>	時間 くらい
3) クラブ・サークル活動	<input type="text"/>	時間 くらい
4) 授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑誌を除く)	<input type="text"/>	時間 くらい

Q25. あなたは現在、クラブ・サークル等の団体に加入していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



Q26. あなたが加入している(していた)団体は次のどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。  
\* 複数の団体に加入している(していた)場合は、もっとも熱心に取り組んでいる(いた)団体についてお答えください。  
\* 「公認団体以外の学内団体」には、学生支援センター登録団体を含みます。

- |             |                  |             |                 |                |
|-------------|------------------|-------------|-----------------|----------------|
| 1           | 2                | 3           | 4               | 5              |
| 公認団体<br>体育会 | 公認団体<br>スポーツブロック | 公認団体<br>文化系 | 公認団体以外<br>の学内団体 | その他<br>(具体的に ) |

Q27. あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- |        |                    |           |                   |       |
|--------|--------------------|-----------|-------------------|-------|
| 1      | 2                  | 3         | 4                 | 5     |
| 満足している | どちらかといえば<br>満足している | どちらともいえない | どちらかといえば<br>不満である | 不満である |

Q28. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |              |                  |              |
|--------------|------------------|--------------|
| 1. 民間企業に就職する | 2. 公務員や教員として就職する | 3. 自営業や家業を継ぐ |
| 4. 大学院に進学する  | 5. 他大学に(編)入学する   | 6. 専門学校に進学する |
| 7. まだわからない   | 8. その他(具体的に )    |              |



Q29. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	し な か っ た あ ま り	た ま に し た	日 常 的 に し た
1) 図書館を利用する	1	2	3	4
2) ラーニング・コモンズを利用する	1	2	3	4
3) 各学部が設置している学習スペースを利用する	1	2	3	4
4) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4
5) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4
6) 新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4
7) 学習の計画を立てる	1	2	3	4
8) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4
9) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4
10) ボランティア活動をする	1	2	3	4
11) 新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4

本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

**ご協力ありがとうございました。**

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学学習支援・教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

## 大学に進学した理由（Q10）

学生がどのような理由で大学に進学してきたのかを見ていく。この調査では、10項目について、それぞれ「まったく重要ではない」から「非常に重要である」の4段階の選択肢で質問を行い、学生から回答を求めている。回答結果をまとめた図1から、進学理由として重視（「いづらか重要である」+「非常に重要である」）されているのは、「学生生活を楽しまたい（84.9%）」「大卒学歴を得たい（84.5%）」「就職に有利（84.2%）」「幅広い教養を身につけたい（83.6%）」「学ぶ内容に興味がある（81.8%）」といった項目であることがわかる。一方、消極的理由である「すぐに働きたくない」の重要性は低い。

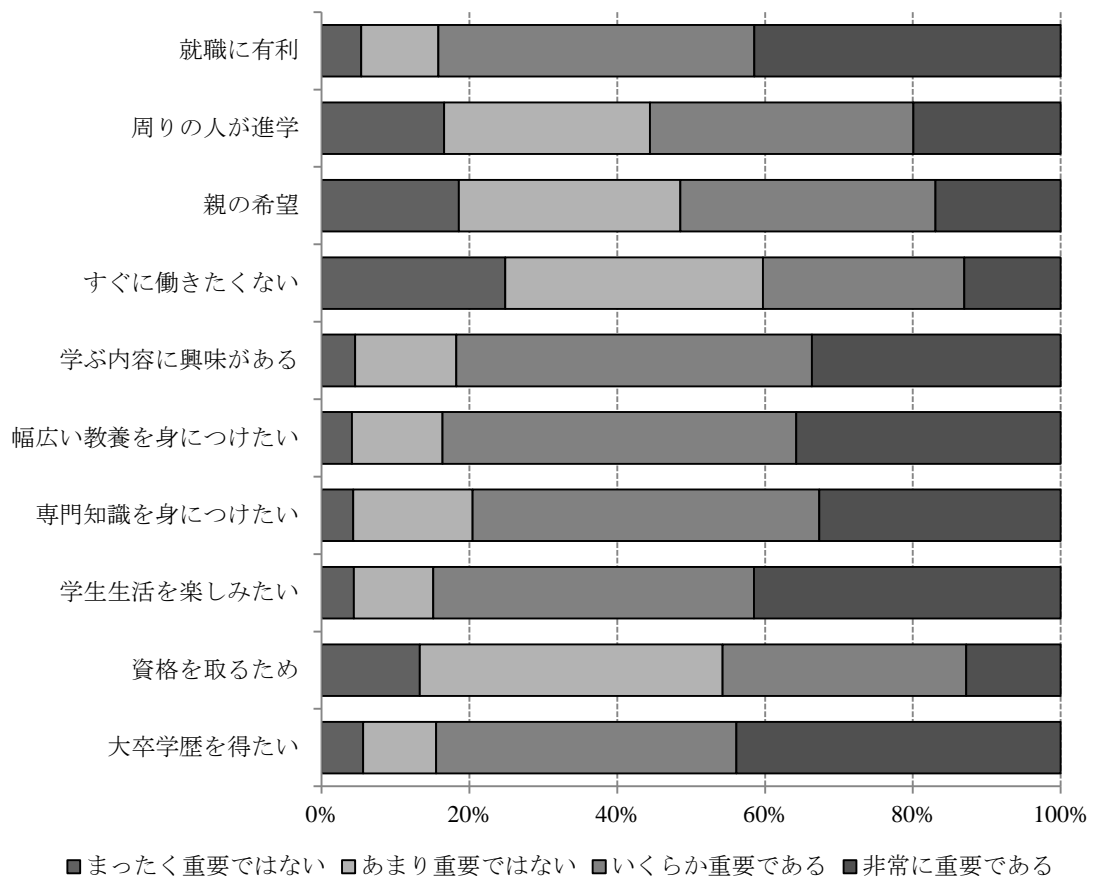


図1：大学進学理由

## 本学選択理由（Q11）

Q11 では、志望校として本学を選択する際に、重視した理由を列挙し、該当する項目を複数回答方式で尋ねている。図2は、回答を項目ごとに集計した結果である。

本学を選択した理由としてもっとも多いのは、半数（55.8%）をこえる学生が選択した「イメージが良い」である。第2位は、41.4%の学生が選択した「就職に有利」であり、「好きな分野を学べる（36.7%）」が続く。一方、「教育面に優れた教員がいる」ことや「研究面に優れた教員がいる」ことを選択した学生は4%ほどにとどまっている（回答の割合は、順に4.1%、4.0%）。

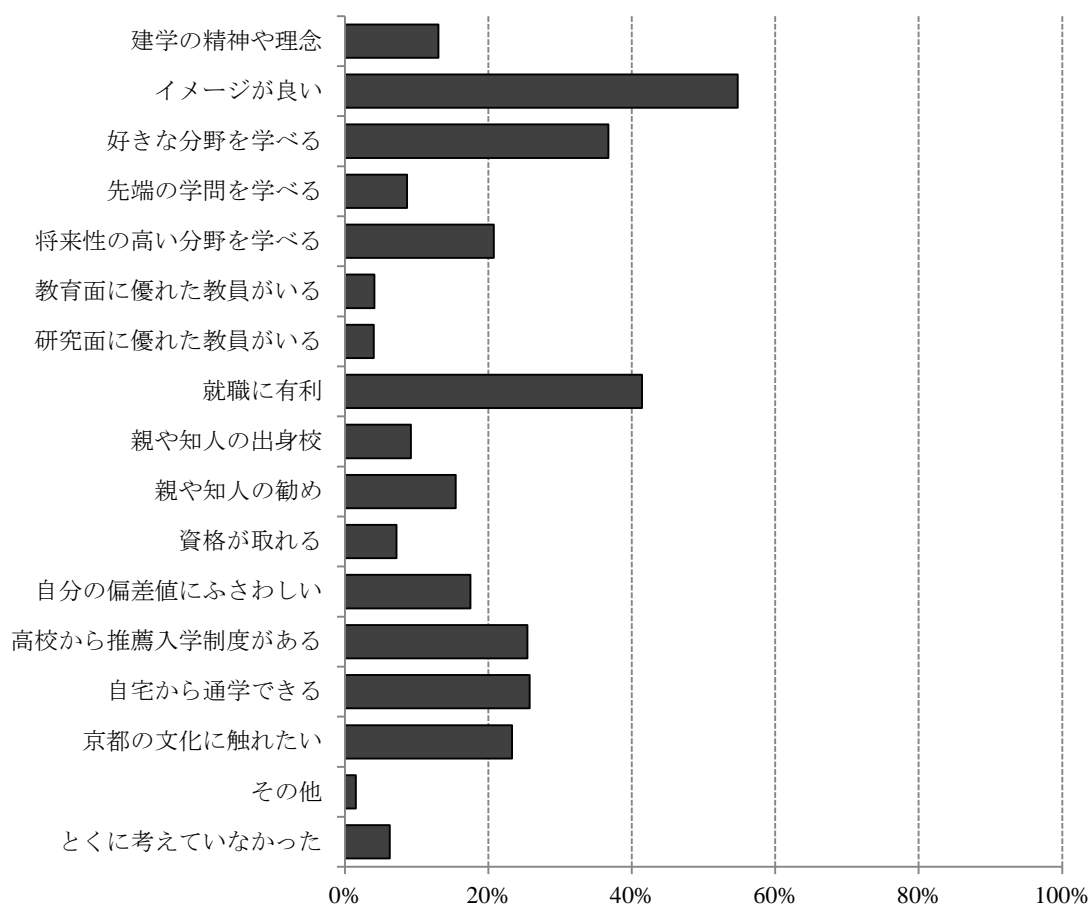


図2：本学選択理由

## 授業に対する取り組み（Q14）

Q14 では、学生の授業への取り組みに対する具体的な行動について頻度を問うている（回答の選択肢は「全くしない」、「あまりしない」、「たまにする」、「よくする」の4段階である）。実行している頻度が多い順に項目を整理したものが図3である。図3に示されているとおり、90.4%の学生が「授業課題の提出」を実行（「たまにする」「よくする」）し、「全くしない」学生はわずか1.6%にとどまっている。「教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る」ことや「試験前に時間をかけて勉強する」ことについても、「よくする」と回答した学生は2割を上回り、「たまにする」まで含めると、7割ほどの学生が実行しているようである。くわえて、「授業に遅刻や欠席をする」ことを「よくする」と回答した学生は8.7%と少数にとどまっている。

ただし、「授業の予習や復習をする」ことについて、「たまにする」もしくは「よくする」学生は半数ほど（50.2%）にとどまっている。さらに、「授業内容について教員に質問する」ことに対して、「よくする」と回答した学生はわずか4.4%、「たまにする」と回答した学生も25.6%と両者を合計しても3割ほどである。ここまでの結果から、多くの学生は、大学での基本的な学習の構えを身につけていると判断できるが、主体的、能動的な学びに関しては活発であるとはいえない。大学教育を通して、学生に主体的、能動的な学びをどのように誘発していくかが今後の課題といえよう。

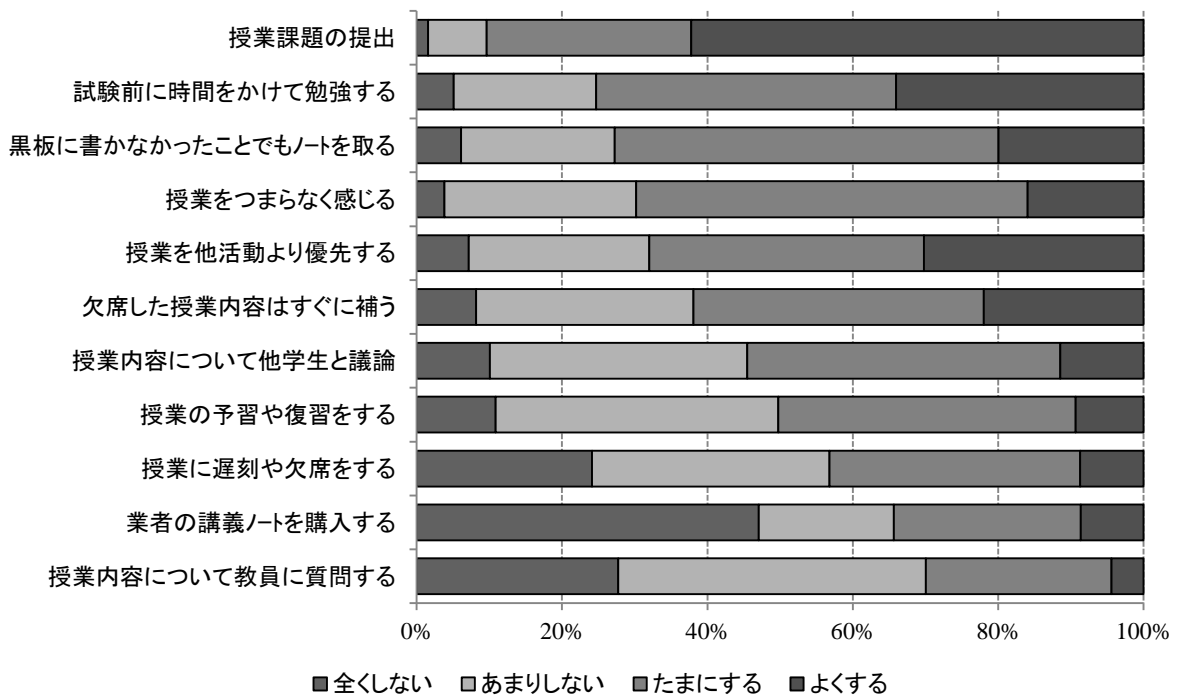


図3：授業に対する取り組み

## 授業の形態・方法（Q15）

Q15では、回答時まで学生が経験（受講）した授業の形態・方法について尋ねている（回答の選択肢は、「全くなかった」、「あまりなかった」、「時々あった」、「よくあった」の4段階である）。回答結果をまとめた図4によれば、「出欠の確認」は、「よくあった」との回答は46.1%、「時々あった（44.4%）」を含めると、9割近い学生が経験している。「グループでの作業や活動」、「定期的な習熟度チェック小テスト」、「定期的な課題提出」についても学生の経験率は高く、日常のヒトコマとなっていることが確認できる。ただし、教員から「課題提出物の添削と返却」が「よくあった」と回答した学生は14.5%であり、それほど多くはない。

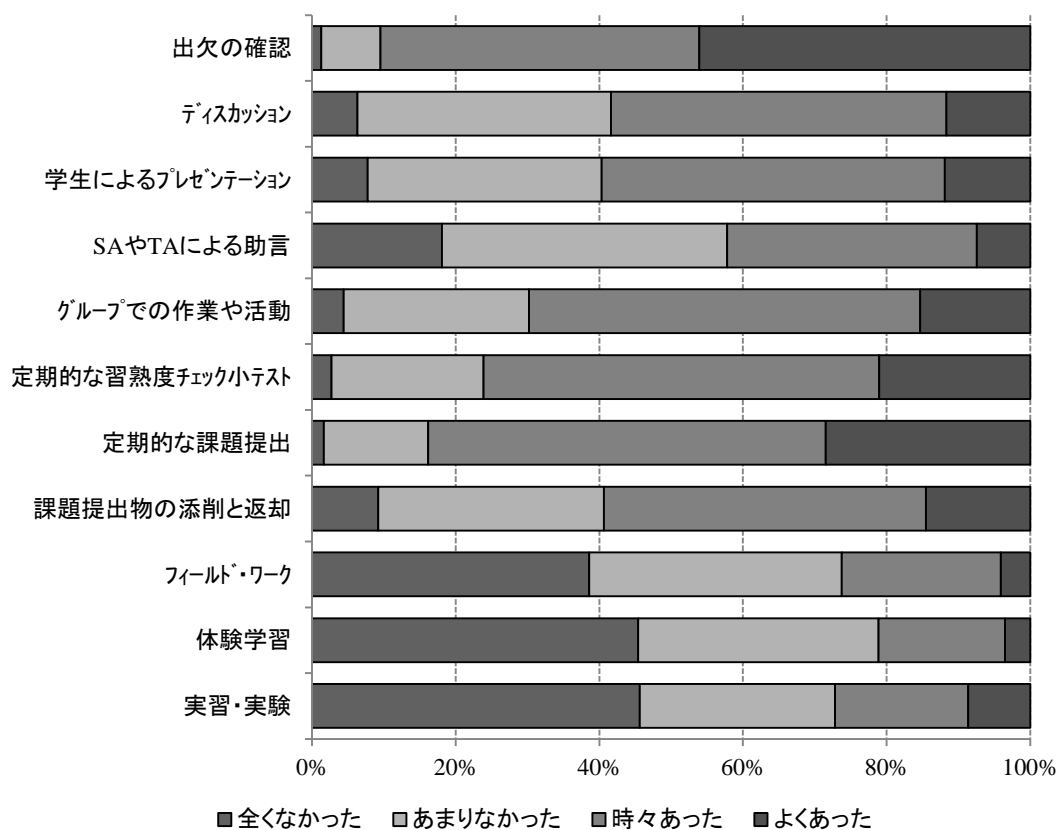


図4：授業の形態・方法

## 留学等の経験（Q16）

Q16は、大学入学後の学生の留学等の経験について尋ねている。1年次ということもあり、留学経験がある学生は極めて限定されており、全体で、「語学研修プログラムへの参加」を経験した者が6.5%、「正規交換留学生として留学」を経験した者が2.4%、「私費留学生として留学」を経験した者が3.6%であった（図5）。

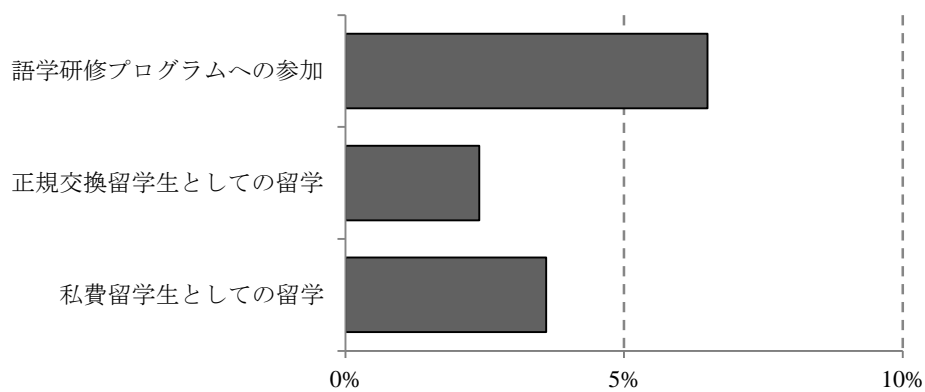


図5：留学等の経験

## 授業に対する評価（Q17）

Q17では、授業の内容がどの程度役に立ったと学生が感じているのかを捉えるために具体的に尋ね、それぞれの項目について4段階（「役に立たなかった」、「あまり役に立たなかった」、「やや役に立った」、「役に立った」）で回答を求めている。図6では、「やや役に立った」と「役に立った」の合計（%）が多い順に項目を並べている。

集計結果をまとめた図6によれば、「やや役に立った」までを含めると、4/5以上の学生が「多様なものの見方にふれること」について、本学の授業内容が役立ったと考えていることがわかる。高校までの授業とは異なり、大学では複数の学問領域を横断する授業が開設され、一つの事象（例えば生殖医療など）について多角的な視点から説明されることが多い。こうした大学における授業の特色が、回答結果にもあらわれているのだろう。

さらに、「大学生としての自覚を持つこと」に対しても、本学の授業が役立ったと多くの学生が評価していることを確認できる。一方で、「愛校精神を持つこと」や「リーダーシップを発揮すること」に対する学生の評価は相対的に低いようである。この結果をみても、日常の授業のなかで学生の愛校精神を育てることがいかに困難であるのかが理解できる。

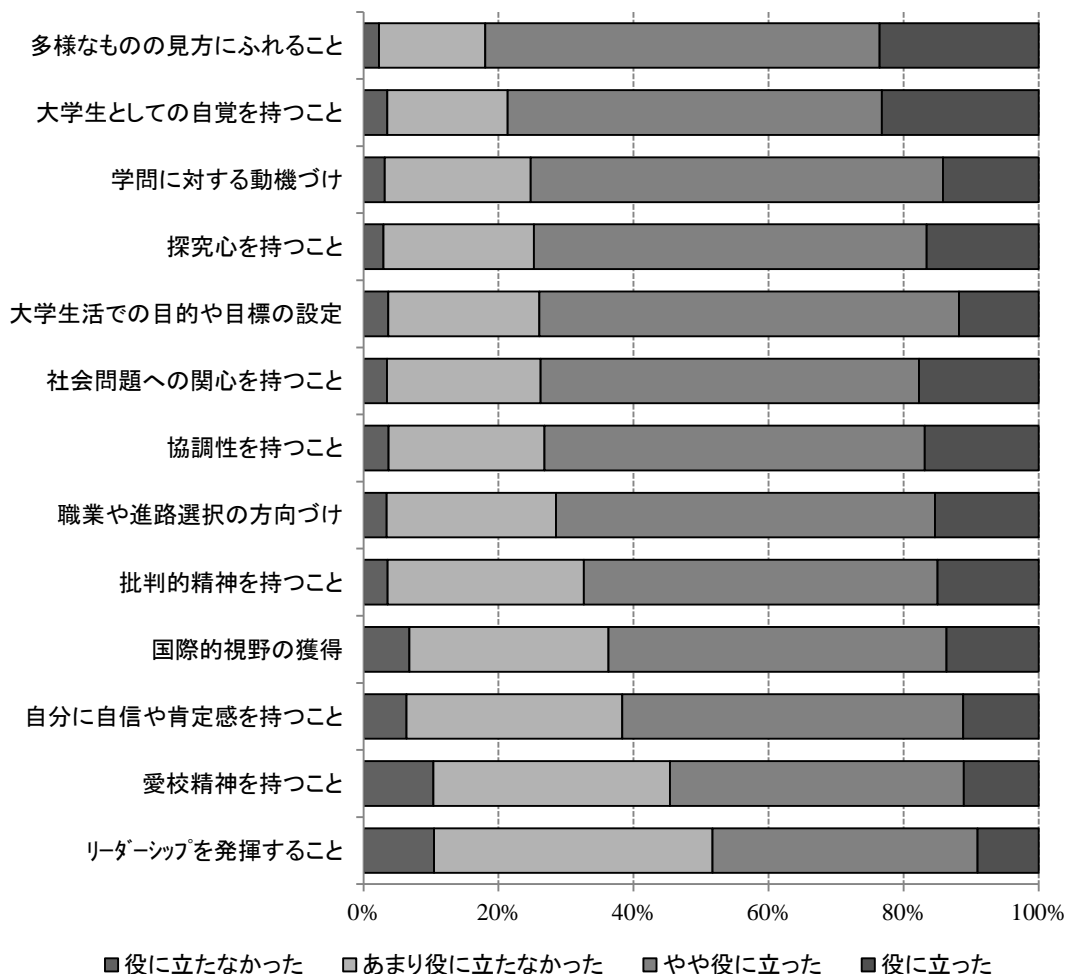


図6：授業に対する評価

## 大学教育の価値（Q19）

ここでは、大学教育そのものに対する学生の考えをみていく。Q19では、大学での学びや大学教育の職業的な価値などに関して回答を求めている（回答の選択肢は、「そう思わない」、「あまりそう思わない」、「ややそう思う」、「そう思う」までの4段階である）。

学生からの回答を集計した図7によると、多くの学生は、大学教育について肯定的な考えを抱いているようである。「大学で学ぶことは楽しい」、「大学で学ぶこと自体に価値がある」、「大学でよい成績をとることは重要」という意見に対して、肯定的に捉える（「ややそう思う」と「そう思う」の合計）学生の割合は7割を超えている。くわえて、大学教育の職業的価値を尋ねた「知識やスキルが将来の職業生活に役立つ」、「卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる」についても、4/5以上の学生は肯定的に考えていることがわかった。

これに対して、「何を学んだかは就職活動の結果に関係ない」という意見を肯定する学生は4割ほどにとどまっており、その割合は、他項目と比べると突出して少ないのが特徴的である。

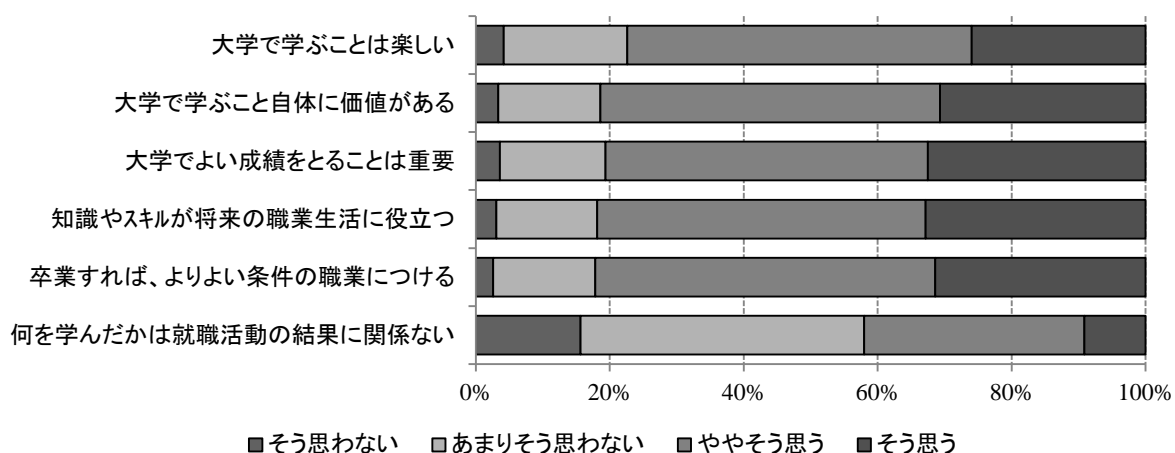


図7：大学教育の価値



## 大学への適応状況（Q20）

Q20では、友人・教員との関係や、大学生活を過ごすなかで日常的に感じる意識を捉えることを目的に6項目を設定し、4段階（「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」）で回答を求めている。

図8は肯定的な回答である「あてはまる」「ややあてはまる」の合計が多い順に回答結果を整理したものである。図8によると、「同じ学部・学科の友人がいる」と「他の大学に通う友人がいる」の2項目は、およそ7割の学生が「あてはまる」と回答している。そうした一方、「大学の教員と交流がある」に対する肯定的回答（「あてはまる」+「ややあてはまる」）は3割ほどにとどまる。全学共通教養教育科目と外国語科目の履修が中心となる1年次の段階では、教員とコミュニケーションを図る機会は、それほど多くはないのだろう。ただし、「大学はいつも退屈だ」「大学は気おくれして居心地が悪い」への肯定的回答は4割を下回っており、学生の多くは、本学での大学生活を満喫しているようである。

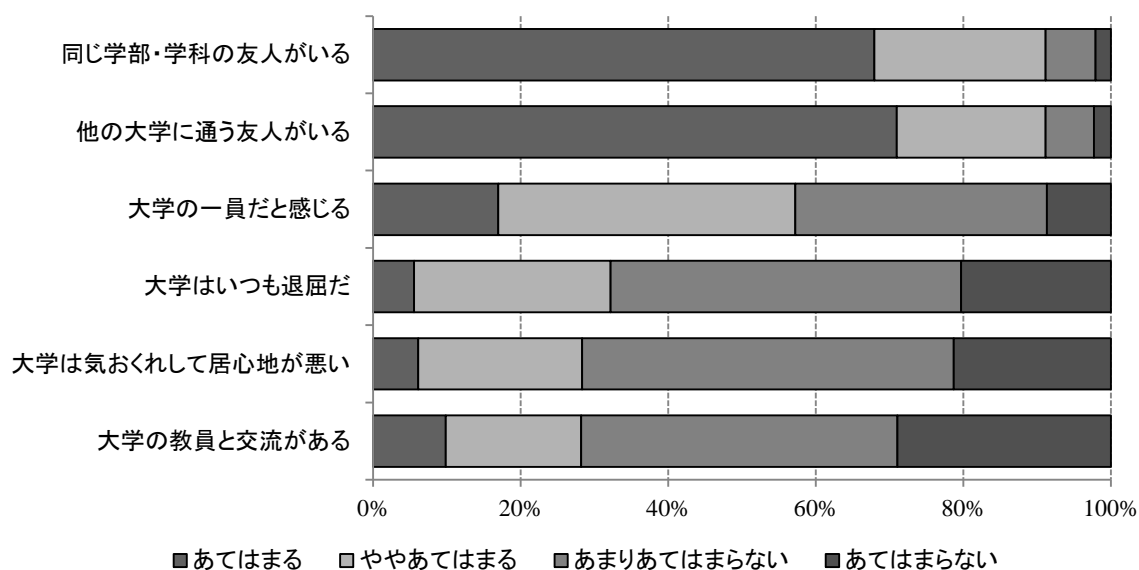


図8：大学への適応

## 大学に対する要望（Q21）

ここでは、本学の学生が大学に対して、どのような要望を持っているのかを確認する。キャンパスライフに関するアンケート調査では、「大学の建学の精神や理念」などの6つの項目を設定し、各項目について「教えてほしい」から「教えてほしくない」の4段階で回答を求めている。

図9は集計を示したものであるが、これによると、「大学の建学の精神や理念」「大学の歴史・伝統」についての回答傾向は類似しており、「教えてほしい」と回答した学生は、双方とも1割に届かない。「カリキュラム編成や卒業単位の習得方法」と「履修登録の具体的な方法」に関しては、4割前後の学生が「教えてほしい」と回答している。

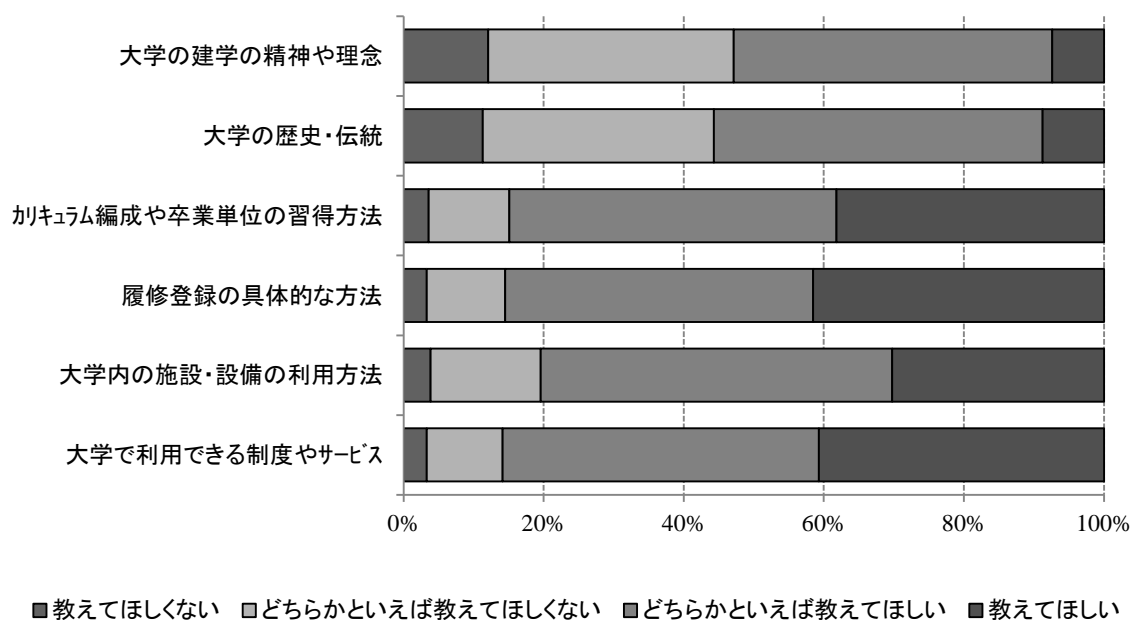


図9：大学に対する要望

## 大学に対する愛着（Q22）

Q22では、本学に対する愛着の度合いを「非常に愛着がある」から「まったく愛着がない」までの5段階の選択肢で回答を求めている。回答を集計した図10をみると、もっとも多い回答は「ある程度愛着がある」（55.2%）であり、以下、「かなり愛着がある」（20.0%）、「あまり愛着がない」（10.9%）が続く。「非常に愛着がある」と回答した学生の割合は、全体の1割ほど（10.4%）であった。この結果からも、本学に対する学生の愛着は基本的に高い水準にあるといえる。

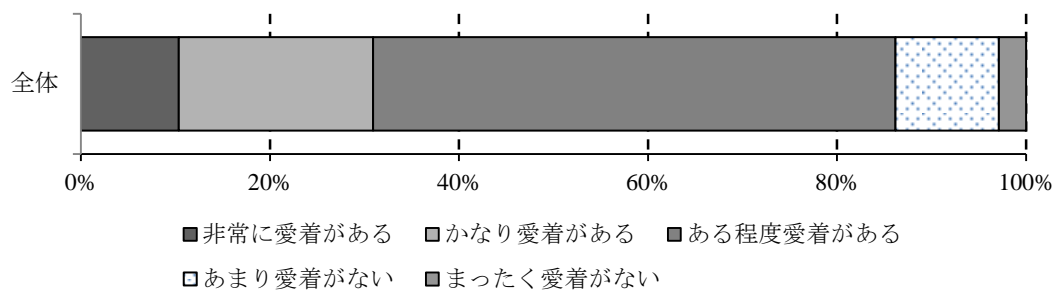


図10：大学に対する愛着

## 生活時間【部活・サークル、アルバイト、授業外学習、読書】(Q24)

図 11 は「部活・サークル」「アルバイト」に対する一週間の活動時間をまとめたものである。学生の「部活・サークル」活動時間は、「1～5 時間」がもっとも多く（38.1%）、平均は 6.26 時間であった。「アルバイト」従事時間は、「6～10 時間」がもっとも多く（25.2%）、「0 時間」（21.7%）と「11～15 時間」（21.0%）と回答した学生がほぼ同率であった。なお、平均は 10.45 時間である。

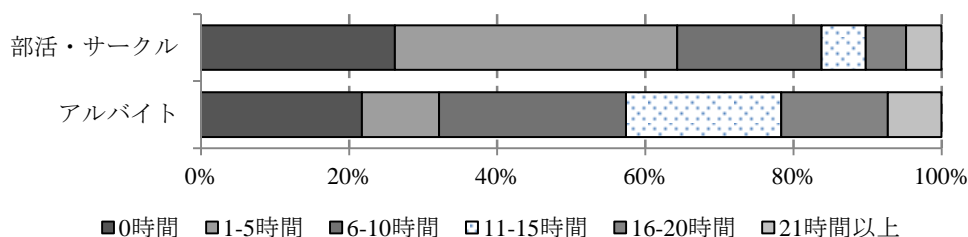


図 11：一週間あたりの部活・サークル、アルバイト時間

図 12 は、一週間の「授業外学習」「授業に関係ない読書」時間を示す。「授業外学習」は「1～2 時間」が 33.7%ともっとも多く、平均は 4.40 時間であった。さらに、「授業に関係ない読書」に費やす時間は「0 時間」（25.9%）と「1～2 時間」（29.2%）が多いが、そうした一方で、一週間に「9 時間以上」読書する学生も 2 割ほど（19.7%）存在し注目される。平均は 4.62 時間であった。

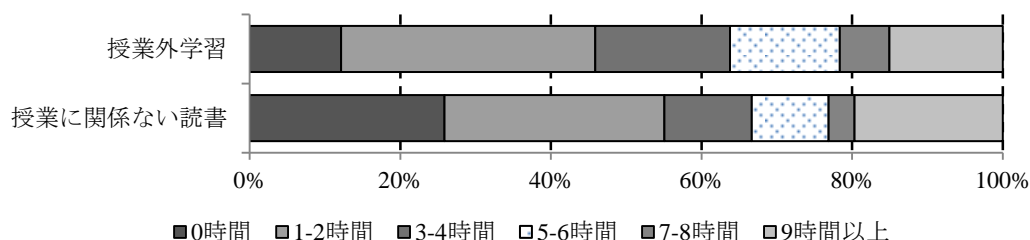


図 12：一週間あたりの授業外学習、読書時間

## 部活・サークル活動（Q25・26）

図 13 は、学生の部活・サークルへの加入状況をあらわしている。大学全体としては、76.6%の学生が部活・サークルへ加入している。

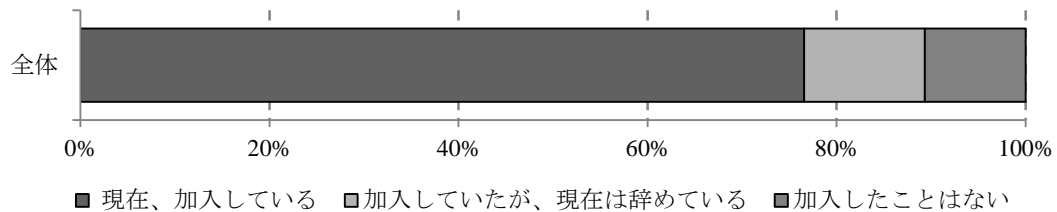


図 13 : 部活・サークル等への加入状況

次に、部活・サークルへ「現在、加入している」「加入していたが、現在は辞めている」学生の団体種別をみていく。回答をまとめた図 14 から、大学全体として、もっとも多くが加入している団体種別は「公認文化系」（34.4%）であった。

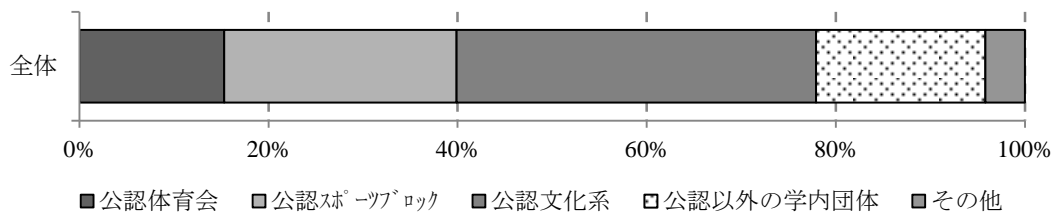


図 14 : 加入団体の種別

## 学習・生活習慣（Q29）

Q29では、大学入学後の学習・生活習慣を捉えるために11の項目を設定し、それぞれについて「しなかった」から「日常的にした」までの4段階で回答を求めている。回答を頻度の多い順にまとめた結果が図15である。頻度がもっとも高い項目は「PCを使って文書や資料を作成する」であり、「日常的にした」と「たまにした」の合計は8割を超えている。これに「インターネットで情報を収集する」「図書館を利用する」が続く。他方、「ボランティア活動」「新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加」した経験がない（「しなかった」）学生は5割を超えている。

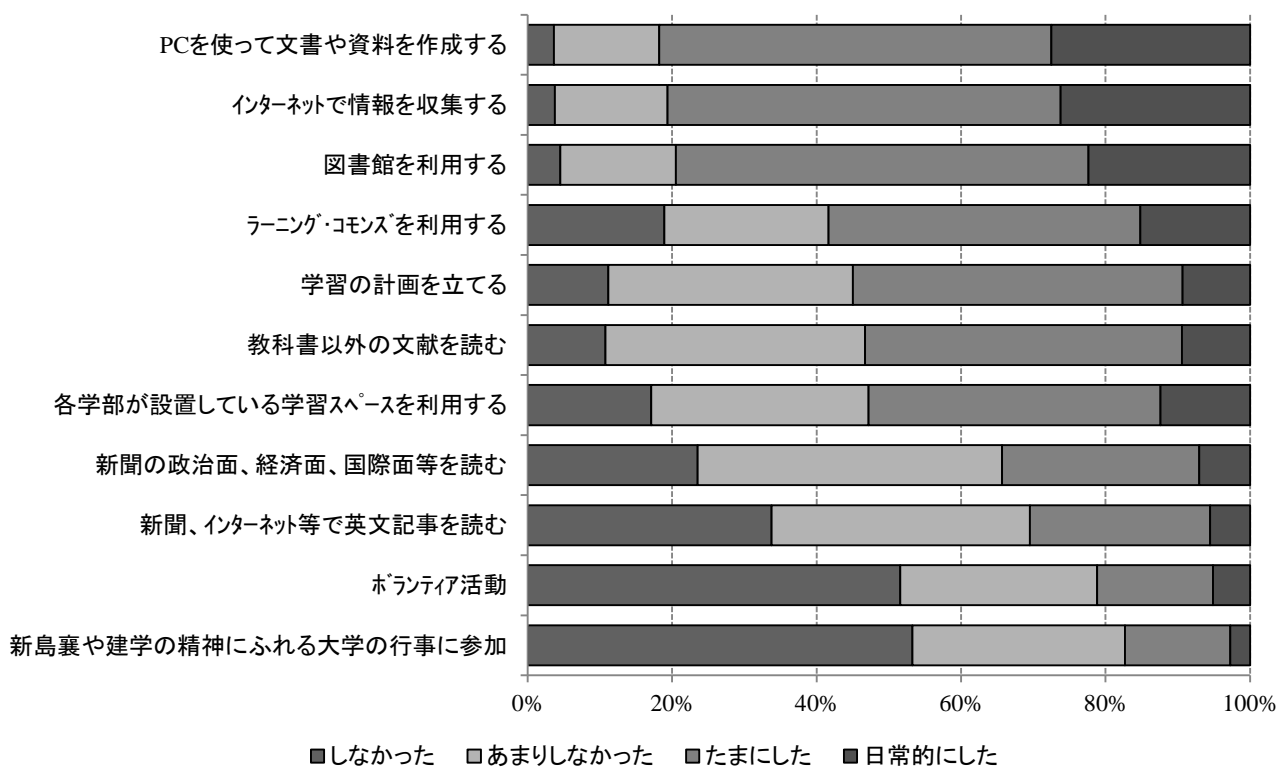


図15：学習・生活習慣

## 満足度（Q27：大学教育全般の満足度、Q18：領域別満足度）

図16は、本学の教育全般に対する満足度を示したものである（回答の選択肢は、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5段階である）。図16から、「どちらかといえば満足している」と回答した学生が48.3%で最も多いが、「どちらともいえない」と回答し判断を保留する学生も一定数（27.0%）存在することがわかる。一方、不満と回答した学生は5%程度にとどまっている。

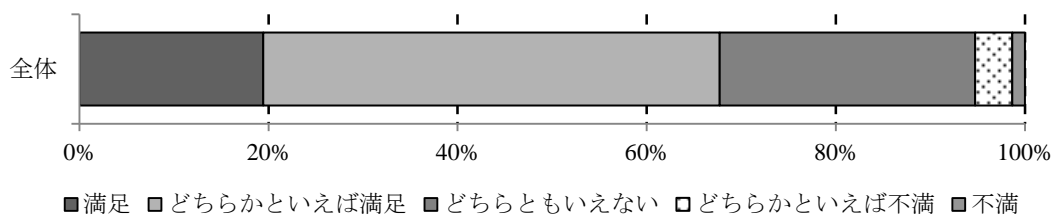


図16：教育全般に対する満足度

次に、領域ごとに満足度を確認してみよう。Q18では、設備環境や授業科目への満足度を、「満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の5段階の選択肢で質問し、項目別に回答を求めている。図17は、「満足」と「やや満足」の合計 (%) が多い順に項目を並べたものである。図17には、「やや満足」までを含める75.5%の学生が「図書館の環境や設備」に満足していることが示されている。さらに、「教室の設備環境」「ラーニング・ commonsの環境や設備」「各学部が設置している学習スペースの環境や設備」といった学習設備環境や「PCの利用環境」に関しても、多くの学生は満足していることがうかがえる。そうした一方、「英語・外国語の授業」に対しては、不満を感じている学生の割合が他の項目と比較してやや多いようである。

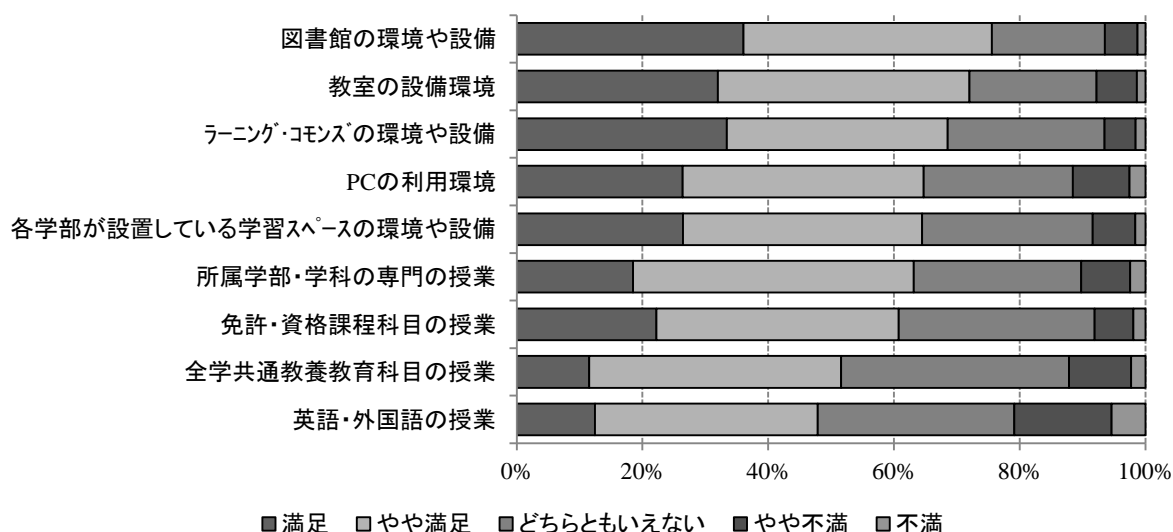


図17：領域別満足度

## 希望する進路 (Q28)

図 18 は卒業後の希望進路をまとめたものである。大学全体の特徴として指摘できることは、卒業後の進路に「大学院」進学を希望する学生は男性に多く（男性 11.6%、女性 5.1%）、判断を保留する（「未定」と回答）傾向は女性に多い（男性 26.7%、女性 30.1%）ということである。「未定」には「その他」も含まれているが、この割合は 1%程度である。このような結果は、大学に入学し 1 年ほどしか経過していない時点でも、ジェンダー（社会的・文化的性差）的な要因が色濃く卒業後の希望進路に関連していることがわかる。

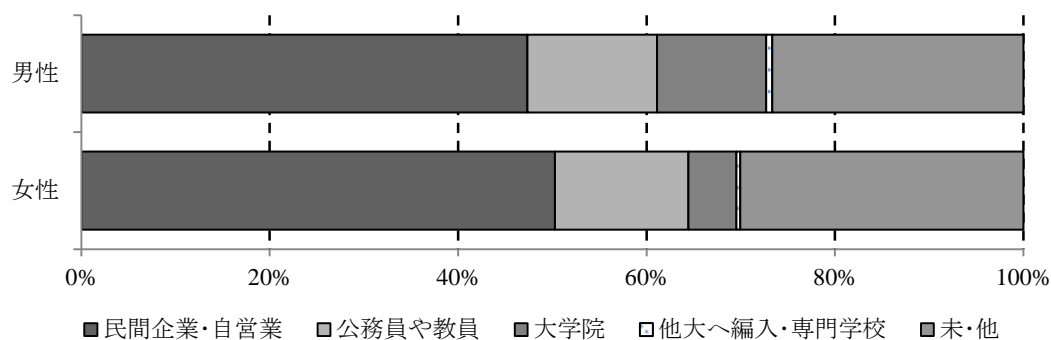


図 18 : 希望する進路